

無所属

埼玉県戸田市議会

戸田の会

戸田市議会議員

やざわ青河

はるか



戸田市長  
菅原 文仁

私も応援しています!

現職最年少

38歳



## やざわ青河 2期目の

# 提言

皆様から頂いたご意見や調査した内容を基に、2期8年間、欠かすことなく質問を続けてまいりました。今回はその一端をご紹介します!

## 能登の地震に学ぶ、 二次避難のすすめ。



消防団として  
日々活動

2024年元旦の能登半島地震では、暖房・物資・プライバシーの無い厳しい避難所生活が連日報道され、災害時に助かりつつも避難先で命を失う「災害関連死」は11月時点で235名と直接死の220名を上回りました。避難対策は、まず避難所の充実と考えがちですが、実際の利用は2割弱。在宅避難や車中泊への支援はもちろんのこと、被災者のいち早い生活再建を目指し、被災地の避難所からホテルや旅館等へ避難する二次避難の促進、民間賃貸を活用した仮設住宅などを提言しました。

その他の提言は裏面から▶▶▶

## すべてのお母さんへ

### 産後ケアを！

産後の身体は、「全治数ヵ月の交通事故」にも例えられ、健康な方でも心身に大きな不調をきたします。しかしながら、日本の産後ケアは、ハイリスクな産婦に特化しており、多くのお母さんが、必要な時期に適切なケアを受けられませんでした。2023年6月、国の改正で産後ケアの対象が広がったことを機に、民間との連携を進め、すべてのお母さんの産後ケアの受け皿やメニューの充実を提言しました。その後、2024年9月より、全産婦向けの新しい産後ケア（産後クーポン事業）が実現しました。



## 健康寿命下位脱却、

### シニア活躍支援！

人生100年時代。定年後30年の過ごし方を考えることは、健康寿命の延伸や医療・介護費の抑制など多くの意義があります。2025年の超高齢化社会（全団塊世代が後期高齢者）に備え、国は定年引き上げやシニアの就業確保を推進。特に、健康寿命が県内下位の戸田市では、シニアの居場所や社会進出の促進は喫緊の課題です。保育・介護・学習塾など人手不足の業界とのマッチングや定年が近い方への会社経由の啓発、スポセンや民間ジムとの連携による健康支援など提言しました。



## 街路樹管理は、

### 安全第一！

道路や公園の植栽は、豊かな景観や緑陰をもたらす一方、老朽化や高木化が進み、繁茂による車や歩行者の視認性の低下、倒木や落ち葉、害虫などのトラブル、維持管理費の増加など様々な課題が顕在化しています。①安全面・通行面を最優先に、交差点や車両出入口、子どもの多い場所などの植栽の剪定や撤去、②車椅子やベビーカー、視覚障害者などの通行を妨げる植栽の改善、③近隣住民に配慮した樹種選び（常緑樹や低木等）や剪定・清掃を提言しました。



## 成年後見制度の

### 慎重な運用を！

もともと「家族が無料で後見人をする」想定で設計された成年後見制度。しかし、法律や手続きの困難さから、法定後見人の多くは弁護士等の士業が担い、家族は2割程度。業務も財産管理などが中心で、ニーズの高い身上監護は少なく、さらに、「途中で辞められない」、「後見人の変更が困難」、「毎月2～8万円の費用負担」など、利用者と制度のミスマッチも少なくありません。主な相談先も士業が受けているため、相談者のニーズにそって総合的に助言できる相談先や身上監護の推進などを提言しました。



## 障がい者の就労・

## 居場所を確保する。

特別支援学校に通うお子様をもつ父兄さんから、卒業後の選択肢が少ないとの切実なお声を頂きました。実際、戸田市の障害者就労継続A型・B型の定員数(人口比)は県内でも少なく、就労先の確保は大きな課題です。民間への積極的なアプローチ、高架下等の有効活用、優先調達への拡充などを提言しました。さらに、会派「戸田の会」としても、市内で屋内農園型施設を展開している(株)スタートラインさんと視察や意見交換を重ね、2023年1月に戸田市との包括連携協定が実現しました。

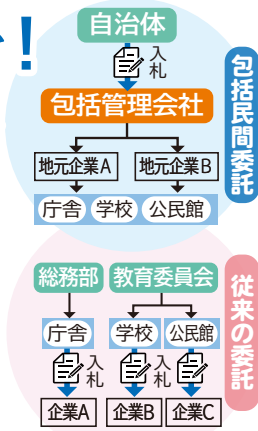


(株)スタートラインと協定が実現

## 包括民間委託で三方

## よしの関係を！

公共施設や道路、公園など、従来、各部局が1つ1つ発注していた業務を一括で発注する包括民間委託の導入を提言。戸田市の公園管理で2年前から開始しました。今後、他業務への導入を進めてまいります。



包括民間委託

従来の委託

## 導入効果

- ①市と企業の入札業務の大幅削減！
- ②管理会社による日常の小規模修繕(内製化)で、職員対応が減り、迅速な修繕や専門的な予防保全が可能に。
- ③契約年数や業務範囲が拡大し、地元企業の安定した収益確保、民間の創意工夫、長期マネジメントが可能に。

## リサイクルよりも

## ゴミの減量を。

市のプラごみの内、44%は焼却、最終的にリサイクルされるのは僅か37%です。民間負担ですが再商品化に1t約5万円かかります。(PETの20倍以上)



ゴミ処理施設を視察

<b>戸田市</b> 収集 1219t ※PET・プラ・雑紙 収集:7362万円	<b>衛生センター</b> 資源 681t 焼却 538t ※分別作業員5名	<b>容器包装リサイクル協会</b> 再商品化 485t ※1t単価: PET約2千円 プラスチック約5万円
---	---	---

2022年のプラ新法で、国は更なる分別徹底を求めています。多額の資源・税金を消費するリサイクルで、ごみ問題を解決することはできません。現状のプラごみ処理の見直し、市民が分かりやすいごみの分別、ごみ減量の徹底を提言しました。

## 誰も取り残さない政治

## を進めます。

24歳で政治の世界に飛び込み、以後6年間、菅原文仁議員(現戸田市長)の秘書として、地元の戸田市にて活動を始め、30歳で最年少の市議会議員として当選を賜りました。市議会が一番身近な政治であり、その課題は私たちが普段住んでいる生活の中にあります。市民の皆さまの「声」に真摯に向き合い、誰も取り残さず、次世代にツケをまわさないよう、市政の発展に全身全霊を尽くしてまいります。



駅頭活動で市政のご報告

矢澤青河

# その他の提言 会派「戸田の会」

## 2025年度予算要望を提出!

10月22日に菅原文仁市長へ提出した来年度予算への148項目の会派要望(一部抜粋)をご報告いたします。



▲予算要望の詳細はこちら!



### 地域・まちづくり



- 学校区単位の地域コミュニティ協議会の検討
- 市内3駅や公園の分煙や副流煙対策の推進
- 大型の商業・流通施設建設による環境悪化の防止
- 住工混在地域の交通安全対策(美女木北等)
- 自転車道整備の推進やルール徹底と違反者への指導
- バスなどの地域交通計画の見直し(買い物難民対策)
- 町会の課題解決への支援(負担軽減等) etc.

### 環境・スポーツ



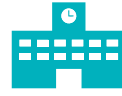
- リサイクルフラワーセンターの見直し(生ごみバケツや障害者雇用の効率化、公園整備等)
- ゴミ集積所の適正管理(外国人や不法投棄の対策)
- 道満グリーンパーク魅力向上(遊具更新や更衣室設置)
- アクティブスポーツなど協会未所属のニーズ把握や整備
- ボール公園新設や既存公園の再整備の推進
- スポーツセンター再編(長期的なコストの抑制や多様化するニーズに合わせた整備) etc.

### 健康・福祉



- 特定健診の受診率向上(ハイリスク者へや未受診者への徹底的な電話勧奨や訪問)
- 親亡き後の支援(居住支援やグループホーム誘致、民間・NPO・個人等の支援者の確保)
- 障害者の就労支援(積極的な民間誘致や開拓、商工会との連携によるプッシュ型支援)
- 成年後見人制度のミスマッチの解消
- 高齢者などの孤立・孤独・引きこもりの相談体制を構築
- 中高年の健康増進(気軽に利用できる運動拠点等の整備、民間ジムなどの活用) etc.

### 子育て・教育



- 全産婦向けの産後ケア体制の構築
- 子育て関連の煩雑な手続きを簡略化
- 教育・福祉・こども部局連携による0歳~30代まで切れ目のない子ども若者総合相談支援
- 子どもの居場所づくり(子ども食堂や学習支援等)
- 医療的ケア児への支援(実態把握、受入れ環境整備)
- スクールカウンセラーやソーシャルワーカーの常勤化
- 公共施設の空きスペースを学習・仕事スペースに活用
- 学力向上(小中一貫校への転換や教育水準の向上)
- 保護者の負担軽減(給食や教材、制服費等) etc.

### 防災・防犯



- 避難所の体制整備(自主防災会や避難者による運営)
- 住宅の耐震化や被災者の住まいの迅速な確保(公営住宅や民間賃貸活用による仮設住宅の確保等)
- 消防救急体制の拡充(システムによる搬送先の確保等)
- ポートコースの浸水対策(事前放水による貯水量確保や堤防整備、住民への事前周知等)
- 関係部署連携による道路冠水ゼロを目指した雨水対策
- 上下水道施設の耐震化・老朽化対策(積極的なICT活用)
- 防犯カメラと啓発看板の増設 etc.

### 業務改善・効率化



- 部局横断の包括民間委託推進(公共施設や街路樹等)
- 市内事業者の優先的参入機会の確保(参加条件の緩和、仕様の見直し、分割発注等)
- 公民連携伴走型支援(計画づくりや部局間調整支援等)
- ITユーザビリティの改善(施設予約システムやTODA PAY)
- 部署間の業務の平準化 etc.

## 矢沢 青河(やざわ はるか)プロフィール

- 1986年5月21日生(38歳) ■茨城県つくば市出身 ■茗溪学園、鹿児島大学卒 ■ラヂオつくば
- 県議秘書7年(菅原文仁現市長) ■戸田市議2期(無所属) ■会派「戸田の会」総務・議会改革等
- 消防団(第七分団) 【趣味】フットサル、読書(歴史小説) 【好物】ラーメン、パン
- 【住所】戸田市美女木 1-15-9-409 【電話・FAX】 048-871-6391
- 【メール】 mail@yazawaharuka.com 【Web】 https://yazawaharuka.com/ 討議資料

